

生活支援サービス等の状況

R3調査結果 (R3.10.1現在の状況)

	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
移動販売	【七和地区】 高齢により自家用車、バスを利用し買物に行けない状況があり、H30.4から県民生協と連携した移動販売を実施中。	【つがる市】 ・NPO法人元気おたすけ隊が主体となり宅配サービスを実施(市補助)。 ・H30.7から移動販売も実施(県モデル事業(商工政策課))。	【鱒ヶ沢町】 ・令和3年10月より、鱒ヶ沢地域創生合同会社が移動販売車を利用した買い物支援サービスを開始。 ・鱒ヶ沢協会は実施事業に協力という形で買い物に不便を感じる地区の情報提供や移動販売を利用した方で困りごとなどの声があれば自宅訪問するなどの連携した取組をしている。	【深浦町】 地理的な面や高齢化率の上昇等により、買物、配食、移動支援へのニーズあり。個人・民間事業者3社程度が移動販売を行っているが、ルート外の地区も多い。	【鶴田町(社協)】 自ら買物に行けない高齢者へ、スーパー等への移動支援を実施しているが、自宅を訪問する移動販売は実施していない。 少ないながらもニーズはあるので、実施を検討していく。	【中里、武田、内湯】 高齢により自家用車、バスを利用し買物に行けない、近くに食品店がなく、食材を購入できない状況があり、H30.8から受注宅配サービスを実施。(県モデル事業「ビュー宅配見守り号」)
配食サービス	【五所川原市】 ・民間の弁当配達あり 【五所川原市(社協)】 ・フードバンク事業を活用し、生活困窮世帯等への食料の提供	【つがる市】 高齢者世帯の自宅を訪問して食事を提供するとともに安否を確認する。 ・週3回までの利用が可能 ・1食300円	【鱒ヶ沢町(社協)】 ・安否確認も兼ねて高齢者、障害者、困窮者世帯への配食サービスを実施。 ・フードバンク事業の活用や、生活困窮者等への無料配食を実施。 【鱒ヶ沢町】 配食サービスを行っている4つの事業者に対して補助金を交付している。	【深浦町(社協)】 町独自に、安否確認も兼ねて高齢者世帯への配食サービスを実施。岩崎地区の利用が多い。	【鶴田町(社協)】 安否確認も兼ねて、高齢者世帯への配食サービスを実施。ボランティアが調理し、民生委員が配達している。	【中泊町(社協)】 ・安否確認も兼ねて高齢者世帯への配食サービスを実施。 ・フードバンクシステム構築事業により生活困窮者等への食品無償提供を実施。
見守り・お宅訪問	【七和地区】 孤独死し、数日後に発見される事例あり。生協による移動販売時にお宅訪問による見守りを実施。 【五所川原市(社協)】 ・地域見守り支えあい事業で町内会への助成を行い、見守り等を行っている。 ・地域における共助の基盤づくり事業(国・市1/2)で、住民主体の見守り活動や要支援者等の早期発見ネットワークづくりを行う。 ・ふくし安心電話設置者への電話訪問でも見守りを行う。	【つがる市】 ・民生委員、ほのぼの協力員による見守りを実施。 ・福祉安心電話利用者には電話による見守り、また、配食サービス利用者には弁当配達時に安否を確認している。	【鱒ヶ沢町(社協)】 ・R2年度末に安心お出かけバスの廃止に伴い、自主事業の外支援助事業で見守りや相談を実施。 ・民生児童委員や社協支部協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。 【鱒ヶ沢町】 ・配食サービスを行っている事業者へは、配食時に見守り・安否確認を依頼している。 ・今年度から、地域全体で見守りネットワークの推進を図り、埋もれつつある生活困窮者の支援に繋げる。	【深浦町】 ・孤独高齢者世帯、高齢夫婦世帯の割合が高く、見守り・安否確認支援へのニーズが高い。 【深浦町(社協)】 ・生活お助け隊事業への登録による安否確認等が行われている。 ・民生児童委員や社協のほのぼの交流協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。	【鶴田町】 ・必要に応じて町保健師の訪問活動や町内会・民生委員等による見守りを実施。 ・令和4年度に向けて、生活支援サポーター養成講座を実施予定(R4.1) 【鶴田町(社協)】 民生児童委員やほのぼの交流協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。	【中里、武田、内湯】 受注宅配サービス時に併せて見守りを実施予定。 【中泊町(社協)】 民生児童委員や社協のほのぼの交流協力員による見守り、福祉安心電話の設置、配食サービス時の安否確認等が行われている。
高齢者サロン	【通いの場】 ・市内34か所まで通いの場が開催されており、第2層コーディネーターが介入して実態把握と助け合いのエンパワメント(強化)を行っている。 【五所川原市(社協)】 ・R3年度ふれあいいきいきサロン事業として市内6カ所まで活動している。 ・ふれあいほっとサロン事業として町内会14カ所まで活動している。 ・ふれあい交流会を8町内会で実施。	【つがる市】 ・高齢者の生きがいと健康づくり事業及び老人福祉センター入浴事業。市内5地区の温泉を高齢者に無料開放し入浴や交流の場となっている。 ・つどいの場は19ヶ所。運営主体は行政主体11ヶ所、住民主体8カ所。いずれも介護予防に資するサロンで体操や趣味活動を行っている。 ・行政主体のサロン(一般介護予防事業)では、リハ職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)を講師とし介護予防教室を実施している。 【つがる市(社協)】 ・住民主体のシルバーサロン 4ヶ所 (1ヶ所まで月1回開催中。冬期間のみ開催予定4ヶ所。コロナ影響により休止状態3ヶ所)	【鱒ヶ沢町(社協)】 ・生活支援CNが、町内17ヶ所の住民主体の高齢者ふれあいの場の運営を支援。(R3.10.1現在:新規0ヶ所、立ち上げ支援中1ヶ所) ・R2年度は、代表者間の意見交換の場を開催。 ・老人クラブ(H30年度から事務局担当)や町内会を社会資源として集い場づくりを推進中。 【鱒ヶ沢町】 ・高齢者ふれあいの場はR3年度1ヶ所増え、18ヶ所で開設している。 ・代表者会議を年1回開催し、情報交換や行政への要望等を話しあっている。	【深浦町(社協)】 ・35行政区中33カ所まで「生きがい活動推進事業」を行っているが、参加者が減少傾向にあり、新規参加者の確保が課題(非常勤の支援員9名を配置。週1回2時間程度、健康チェック・体操・レク等を実施。その他、専門のトレーナーによる運動指導や合同交流会等の行事も多数実施)⇒H12.9月の町「健康長寿のまち宣言」の一環として、レク等を通じて健康づくりを行っているもの。 ・6月～11月、町内3カ所まで週1回、認知症予防を目的として「脳の健康教室」を実施。 【深浦町】 ・平成30年度から、町内2ヶ所まで認知症カフェを開催。	【鶴田町(社協)】 ・住民主体「地区サロン」を現在1地区で実施。全40地区での実施を進めているが実施に至っていない。(コロナによりR3.10から再開) ・各町内会等主体の住民参加型地域福祉活動「幸せの種まき運動」を実施し、住民自らの発想による誰もが参加できる場を展開している。(コロナによりR2年度から休止中) ・週1回住民に集いの場を提供する「スマイルハウス」を実施。内月1回は昼食も提供している。(コロナにより休止中) ・一般介護予防事業として、ほっこりサロン(週2回)、カラオケクラブ(月4回)、ゴニカンクラブ(月2回)、コリラ体操(月2回)、ヨーガ(月2回)、青竹ビクス(月1回)、フラダンス(月2回)、ポッチャクラブ(月2回)、書道クラブ(月2回)、ノルディックウォーク(月2回)、脳楽寺子屋(5ヶ月間週1回)を開催し、福祉センターで毎日何かを実施している状態になっている。(コロナにより一部10月から再開)	【中泊町(社協)】 ・町委託の高齢者寝たきり防止事業や生きがいと健康づくり事業を各月1回開催。 ・生活支援CNが、住民主体の集いの場「駅ナカ学校」(月1回)の運営を支援。小泊地域においても6月、11月に開催。来年度は「ビュー移動販売」に合わせ、集いの場を開催し、買い物に加えて安否確認や健康づくりができる仕組みづくりを目指す。 【中泊町】 ・住民主体の「通いの場(体操等)」を8カ所で開催。地域包括支援センター(社福・内湯療護園 委託)が活動を支援し、町が燃料費等補助。
移送サービス	【七和地区】 中長距離路線バスのバス停が地区内に1か所しかない。希望時間に希望場所へ車輦による移送について市の補助事業を活用し実施。 【五所川原市(社協)】 ・外出が困難な高齢者・障がい者を対象に、医療機関受診や買物の送迎など、介護輸送・ケア輸送を実施。 【五所川原市】 ・R2.7.1～訪問型サービスD事業実施。	【つがる市】 外出支援サービス事業 ・65歳以上で一般の交通機関を利用出来ない(車椅子・ストレッチャー使用者)方を移送用車両で自宅と医療機関等の間を送迎する。 ・利用回数は月2回まで ・利用料は無料	【鱒ヶ沢町】 タクシーの台数が削減され、特に、深夜12時以降は営業していないため、在宅での看取りや救急外来利用時の移動手段に支障がある。 【鱒ヶ沢町(社協)】 ・町委託の「安心お出かけバス」(予約制)により買い物・移動支援と見守りを実施。令和2年度をもって事業廃止。 ・介護保険の要介護者・要支援者等への移送サービスが行われている。職員の確保が課題。	【深浦町(社協)】 介護保険の要介護者・要支援者等への移送サービスが行われている。職員の確保が課題。	【鶴田町(社協)】 ・介護予防送迎車「スマイル号」(予約制)を平日運行。温泉と介護予防事業等を行っている福祉センターへ無料で送迎している。 福祉センターから町内スーパー等への送迎も行っている。(コロナにより10月から再開) ・要介護者・要支援者等への移送サービス(介護輸送・ケア輸送)を実施している。	【中泊町(社協)】 ・老人福祉センターへ週3回福祉バスで送迎を実施。地元商店による販売コーナーを設置し、買い物支援にも努めている。 ・介護保険の要介護者・要支援者等への移送サービスが行われている。職員の確保が課題。
デマンド交通	【五所川原市】 地域公共交通活性化協議会(都市・交通課担当)で公共交通の再編検討を行っており、令和2年度の市内バス路線の再編に伴い生じた交通空白エリアの解消を図るため、週2日、1日2往復の予約型乗合タクシーを導入している。	【つがる市】 ・地域公共交通会議(企画調整課担当)で、バス路線が廃止になり、バスが通らなくなった地域の代替路の確保として、タクシー車両での試験運行中。	【鱒ヶ沢町】 ・鱒ヶ沢町安心お出かけバス運行事業(月～金曜日)として、町社協へ委託している。 ・R2年度をもって、安心お出かけバス運行事業を廃止。	【深浦町】 H30.3に町公共交通対策協議会を立ち上げ、R2.2月下旬に深浦町地域公共交通網形成計画を策定予定。全町的な公共交通体制の検討を行う中で、特に高齢者対策を重視する意向。		
雪かき支援	【五所川原市】 非課税単身高齢者世帯等に対し門口除雪支援(半額補助)を実施。シルバー人材センター等に委託。 【五所川原市(社協)】 ・除排雪たすけあい事業にて11町内会へ助成。	【つがる市】 軽度生活援助事業(除雪支援): シルバー人材センター委託 ・65歳以上の1人暮らしや高齢者世帯で自力で除雪が困難な方に、自宅玄関から公道までの安全路を確保する。 ・1時間500円 ・年度内で10回まで	【鱒ヶ沢町】 ・雪かきが困難で冬期間のみ有料老人ホームや他地区の子ども宅等で過ごす人もいる。 【鱒ヶ沢町(社協)】 ・令和3年7月より、元気な高齢者の活躍の場等を目的に「生き生きわくセンター」を開設。現場確認した上で、生活支援サポート派遣事業(200円/10分)の利用とどちらが適切か本会内で協議し除雪支援を実施していく。	【深浦町(社協)】 ・雪かきが困難等で冬期間のみ生活支援ハウスに入居する人がいる。 ・シルバーバンクや生活お助け隊事業による除雪支援を実施。	【鶴田町】 防災クラブ(ほほ行政連絡員)が実施。町除雪機120台を貸与。 【鶴田町(社協)】 ・雪かきが困難で冬期間のみ有料老人ホームに入居する人がいる。 ・シルバー人材センターで対応。 ・各町内会等主体の住民参加型地域福祉活動「幸せの種まき運動」を実施し、住民自らの発想により高齢者宅等の除雪を行っている地区もある。(コロナによりR2年度から休止中)	【中泊町(社協)】 ・雪かきが困難等で冬期間のみ生活支援ハウス(小泊地区)に入居する人がいる。 ・除雪ボランティアによる除雪支援を実施(R2年度は急な除雪作業の依頼であったためボランティアの派遣実績が無く、社協職員が対応した。その他各個人でシルバーに依頼している様子)

生活支援サービス等の状況

R3調査結果 (R3.10.1現在の状況)

		五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
家事支援	家事支援	【五所川原市】 介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービスによる生活援助等を実施。	【つがる市】 介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービスによる生活援助等を実施。	【鱒ヶ沢町】 「鱒ヶ沢町母子支援センター(子育て世代包括支援センター)」では、300円/時で妊婦及び産婦(3ヶ月まで)の家事援助(炊事、洗濯、掃除等の家事全般)支援を実施。 ・乳幼児一時預かりも実施。 【鱒ヶ沢町(社協)】 ・生き生きわーくセンターを開設したことにより、依頼内容によって生活支援サポート派遣事業の利用とどちらが適切か本会内で協議し支援。(ゴミだし、除雪、病院受診付添、除草、買物、部屋模様替、粗大ゴミ廃棄等)	【深浦町(社協)】 ・H29.7月より、生活お助け隊事業による各種生活支援(①家具の移動・取付修理 ②ゴミ出し ③食材等の買い物代行④話し相手 ⑤安否確認 ⑥冬期間の玄関前の除雪等)を実施(利用料200円/15分(ゴミ出し100円等))。 ・介護保険の訪問介護事業による家事援助等を実施。	【鶴田町(社協)】 ・サポーターがおらず休止状態だった生活支援サービス再開のため、養成講座を開催。(R4.1)養成後は家事援助(調理・買い物代行・掃除・洗濯・通院介助)を実施していく。 (利用料280円/1時間・概ね週1回) ・介護保険の訪問介護事業による家事援助等を実施。	【中泊町(社協)】 介護保険の訪問介護事業による家事援助等を実施。
	その他	【七和地区】 ・生協と連携し、農産物の販売を実施。 ・地域が稼ぐ仕組みとして、薪プロジェクトを県事業により実施予定(エネルギー開発振興課)。 ・その他、アクティビティ、特産品の開発について検討中。		【鱒ヶ沢町(社協)】 ・H30年度、国のモデル事業「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」の採択を受け、相談を丸ごと受け止める窓口として「あんしん相談窓口あじがさわ」を設置。 ・平成31年4月から、鱒ヶ沢町・深浦町より権利擁護支援における「地域連携ネットワーク構築事業」を受託。「権利擁護センターあじがさわ」が中核機関の役割を担っている。		【鶴田町】 ・担い手不足。 ・生活支援サポーターの獲得に向けた取り組みを推進予定。	【中泊町】 兼任集落支援員を配置して、集落点検のためのアンケートや懇談会を実施。各集落ごとに課題解決のための方策の検討と実施に取り組んでいる。
担い手候補・取組状況	社会福祉協議会	・地域見守り支えあい事業(見守り活動、町会活動費助成、サロン開設、除排雪支援) ・ひとり暮らし高齢者等の交流会開催 ・福祉移送サービス ・なんでも相談所 ・ふくし出前講座 ・ボランティア講座	・サロン開設、住民主体サロンへの助成等を実施。 ・福祉安心電話、要援護者の見守り、フードバンク(生活困窮者等へ無料提供)の実施。 ・ボランティア養成講座の開催、福祉推進員への研修会の開催。	・社協支部活動による見守り、地域交流サロン(ふれあい交流会)の開催 ・町補助・委託事業を通じた見守り(配食サービス、福祉安心電話、安心お出かけバス) ・高齢者ふれあいの場(住民主体の集い場)立ち上げ支援等(※開設、運営費は町が助成) ・フードバンク、無料配食の提供(生活困窮者等)	町内全地区での高齢者の集い、ほのほの交流協力員や福祉安心電話・生活お助け隊事業や配食サービスによる見守り、要介護者や要支援者等への移送サービス、シルバーバンク事業や生活支援サポーター事業による各種生活支援(①家具の移動・取付修理 ②ゴミ出し ③食材等の買い物代行④話し相手 ⑤安否確認 ⑥冬期間の玄関前の除雪等)を実施。	・町内各地区に地域福祉推進委員会を設置いただき、住民参加型地域福祉活動「幸せの種まき運動」を実施。住民総参加の行事企画やほのほの交流協力員による見守り活動を行っている。 ・町保健福祉センターを主会場に、介護予防事業による集いの場をほぼ毎日開催し、移動手段のない方のために送迎車も運行している。この送迎車は希望によりスーパー等への送迎も行う。 ・生活支援サポーター養成講座を実施し、高齢者の生活支援をする人材を育成。	除雪ボランティア、配食サービス、見守り、移動支援、「駅ナカ学校」等の集いの場の運営補助、フードバンク等を実施。
	その他(NPO、民間企業、地域運営組織等)	・七和地区活性化協議会、七和まちづくりネットワーク(七和活性化の実動組織) 【五所川原市社協】 社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。 R元年11月より、五所川原市民を対象とした保証人確保モデル事業を実施。 R2年度、五所川原市社会福祉法人等連絡協議会の事務局を受託。五所川原こども宅食おすそわけ便を展開中。	NPO法人元気おたすけ隊、街の駅あるびょん、JAつがるにしきた(惣菜・弁当販売等)、マエダ(買物バス)、サカエ薬局(薬局までバス)	【鱒ヶ沢町社協】 社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。 【鱒ヶ沢町、鱒ヶ沢町社協】 ・R3年7月後半に、両者が連携して高齢者や引きこもりの方を対象に、活躍の場や就労支援等を行い自立の一助とすることを目的に、「生き生きわーくセンター」を設立し、支援している。メニューは剪定、清掃、草刈り、簡易な家屋等修繕、雪投げなど。	【愛和会、はくしん会、治省会】 社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に町内3法人が参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。 【深浦町社協ほか】 H29年度、町内の全社会福祉法人及び民間介護事業者等で組織する連絡会を設立。地域における課題等の協議、連絡調整や情報交換等を実施。	自主防災クラブ(除雪、ほほ行政推進員) 【いずみ会、鶴松会、厚生会】 社会福祉法人の社会貢献活動である「青森しあわせネットワーク」(事務局:県社協)に参加し、総合相談、経済的援助、食料等の提供、就労・社会参加支援等を行っている。 【鶴田町社協ほか】 町内の社会福祉法人、民児協、役場で「社会福祉法人等による地域貢献活動連絡協議会」を設立。暮らしのよりどころ相談所を7法人に設置し、住民の相談に対応している。	(株)アクトプラン(中泊町農産物加工販売施設「ピュア」の指定管理者)、サカエ薬局(薬局までバス) 【内湯療護園】 小学校児童の福祉教育、ボランティア受け入れ、施設利用者の交通安全キャンペーンへの参加等